

杉本春江氏を講師に「琉舞」のクラブ活動スタート

沖縄の文化にふれる機会とするため、後期のクラブ「琉舞」が、杉本春江氏を講師に、12月4日にスタートしました。

初めての「琉舞」に教育研究員の皆さんは緊張気味でしたが、会議室に広がる「かぎやで風」の音楽にしばし心は、琉球王朝の世界へと飛んでいるようでした。

【クラブ 琉舞の概要】

「かぎやで風」

- 1 基本 扇子の持ち方、すり足等
- 2 かぎやで風1番の練習
- 3 かぎやで風2番の練習



写真1 活動の様子

【教育研究員の感想】

クラブ琉舞では、基本的な扇子の持ち方やすり足の仕方など丁寧に教えていただきました。すり足や股関節を曲げることを意識しながら歩くと動きがぎこちなくなり、変な歩き方になってしまいました。また、手の動きと足の動きを合わせるのが難しいなと感じながらも、1度だけ踊った経験があるので、思い出しながら取り組みました。音楽と動きを合わせるのが難しく、曲が分かればそれにあわせて踊ることができるのかなと感じました。クラブ琉舞は3回しかないのです、その間にマスターできるように頑張りたいと思います。(稲嶺あゆみ)



写真2 全員でポーズ

初めてのクラブ琉舞がありました。今まで「かぎやで風」の踊りを見たり、曲を聴いたりすることはあったのですが、実際に自分が踊るのは初めてなので緊張しました。

最初にすり足と扇子の持ち方から練習を行ったのですが、意識しすぎて逆にぎこちなくなりました。でも、練習を続けていく内に少しずつぎこちなさはなくなっていくと思います。今はカウントにあわせて踊るのに精一杯で曲を聴きながら踊れていないので、次回は曲を聴きながら踊れるようになりたいと思います。(安座名有里)

杉本春江先生によるクラブ琉舞①がありました。「かぎやで風」を教わりました。琉舞は、動作がゆったりしているのに、ついていくのが大変でした。また、扇子を持つ手や背筋を伸ばしての中腰の姿勢に集中するあまり、体のいろんなところに痛みを感じ、普段から姿勢良く生活しようと思いました。歌詞も覚えて聞き取れるくらいになり、全3回で覚えられるように頑張りたいと思います。(勢理客貴之)

クラブ琉舞で初めてかぎやで風を踊ったのですが、思っていたより難しかったです。先生を見ながらだと、何とか踊れるのですが、自分達だけではまだ踊れません。全部で「クラブ琉舞」は3回しかないのです、次までに今日の事を忘れないように、時々インターネットの動画を見て練習をしてみたいと思いました。

(比嘉俊雄)

「かぎやで風」を習うのはこれで2回目。しかし、3回でマスターしなければならないと聞いて、しっかり踊れるようになりたいと思いました。早く覚えることができれば、細やかな所作に気を遣うことができると思います。歌いながら踊れたらなお良いのと思います。春江先生は、私達が踊りにくい箇所があれば何度でも教えて下さったので、何とか2番まで踊れるようになり、嬉しくなりました。(古謝栄子)